2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社アエリア	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3758	URL	https://www.aeria.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	小林　祐介
問合せ先責任者	（役職名） 管理本部長	（氏名）	上野　哲郎　　(TEL) 03 (3587) 9574
配当支払開始予定日	―		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：無		

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	15,166	28.5	802	48.0	685	75.8	566	73.5
2025年12月期第３四半期	11,805	△20.7	542	―	389	―	326	―

（注）包括利益 2026年12月期第３四半期　615百万円（ 42.6%）2025年12月期第３四半期　432百万円（ ―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	27.93	―
2025年12月期第３四半期	15.64	―

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費）
2026年12月期第３四半期　858百万円(37.8%)　2025年12月期第３四半期　622百万円(―%)

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	18,814	9,597	47.3
2025年12月期	21,238	9,231	40.2

（参考）自己資本 2026年12月期第３四半期　8,903百万円　2025年12月期　8,539百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	5.00	5.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				―	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	6.2	900	34.8	700	29.3	500	41.9	23.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　1社（社名）株式会社エポックイン心斎橋、除外　　―社（社名）―

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	21,249,428株	2025年12月期	21,249,428株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,140,774株	2025年12月期	693,574株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	20,285,823株	2025年12月期３Ｑ	20,880,178株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があります。

当社グループが展開しているインターネット関連事業においては、スマートフォン・タブレット端末の普及に伴い、インターネット利用者数の増加やＥＣ（電子商取引）市場の拡大等を背景として、引き続き成長を続けております。さらに、コンテンツサービスの多様化が市場規模を拡大しており、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツ市場においても継続的な成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。また、アセットマネージメント事業においては、投資用不動産の価格水準が高く推移し利回りも低くなっており、適正な投資案件が不足している状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コア事業と位置付けるＩＴサービス事業について安定した収益基盤を強化し、コンテンツ事業においても、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業及び配信・運営事業を強化するとともに、子会社各社の強みを生かし、これまでのマス・マーケットからターゲット層を絞ったニッチ・マーケットでの基盤を作り、深耕を進めてまいりました。また、アセットマネージメント事業においては、規模が小さく、事業期間の短い収益不動産を中心として展開することにより、事業リスクをコントロールし、金融機関の融資姿勢等に鑑み慎重に事業を運営してまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高15,166百万円（前年同期比28.5％増加）、営業利益802百万円（前年同期比48.0％増加）、経常利益685百万円（前年同期比75.8％増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益566百万円（前年同期比73.5％増加）となりました。

また、ＥＢＩＴＤＡ（営業利益＋減価償却費）は858百万円（前年同期比37.8％増加）となりました。

なお、当社グループでは、Ｍ＆Ａを活用した事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していくなかで、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なＥＢＩＴＤＡを経営指標として採用しております。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第３四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。前第３四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づき作成したものを記載しております。

①ＩＴサービス事業

ＩＴサービス事業につきましては、データサービス事業を行う株式会社エアネットが安定した収益を獲得しておりますが、オンライン電子出版に特化したアフィリエイトプラットフォーム事業を行う株式会社ファーストペンギンの決済代行収益の減少並びにアフィリエイト広告売上の減少に伴い売上高は減少しておりますが、コスト削減により営業利益は増加しております。

以上の結果、売上高は1,217百万円（前年同期比8.4％減少）、営業利益は58百万円（前年同期比41.8％増加）となりました。

②コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲームの開発、配信及び運営並びにキャラクターグッズの販売等を行っております。既存コンテンツの売上の減少等により売上高及び営業利益が減少しております。

以上の結果、売上高は6,146百万円（前年同期比12.8％減少）、営業利益は43百万円（前年同期比78.3％減少）となりました。

③アセットマネージメント事業

アセットマネージメント事業につきましては、不動産の賃貸及び売買並びに国内外の企業等への投資等を行っております。法人向けの投資用不動産の販売が順調に推移し売上高及び営業利益は増加しております。

以上の結果、売上高は7,864百万円（前年同期比124.4％増加）、営業利益は700百万円（前年同期比133.7％増加）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当社グループの当第３四半期連結会計期間の末日における財政状態は、下記のとおりであります。

①資産の部

（流動資産）

流動資産につきましては15,174百万円（前連結会計年度末は17,147百万円）と1,973百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が7,760百万円（前連結会計年度末は8,071百万円）と310百万円減少、商品が4,524百万円（前連結会計年度末は6,051百万円）と1,526百万円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産につきましては3,640百万円（前連結会計年度末は4,091百万円）と450百万円の減少となりました。主な要因は、投資有価証券が1,146百万円（前連結会計年度末は1,105百万円）と41百万円増加、差入保証金が251百万円（前連結会計年度末は213百万円）と37百万円増加した一方で、有形固定資産が2,016百万円（前連結会計年度末は2,529百万円）と513百万円減少、繰延税金資産が42百万円（前連結会計年度末は81百万円）と38百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は18,814百万円（前連結会計年度末は21,238百万円）と2,423百万円の減少となりました。

②負債の部

（流動負債）

流動負債につきましては6,263百万円（前連結会計年度末は8,788百万円）と2,524百万円の減少となりました。主な要因は、買掛金が435百万円（前連結会計年度末は530百万円）と95百万円減少、短期借入金が826百万円（前連結会計年度末は1,496百万円）と670百万円減少、１年内返済予定の長期借入金が1,972百万円（前連結会計年度末は3,363百万円）と1,390百万円減少、未払金が278百万円（前連結会計年度末は458百万円）と179百万円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債につきましては2,954百万円（前連結会計年度末は3,218百万円）と264百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が2,328百万円（前連結会計年度末は2,590百万円）と262百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は9,217百万円（前連結会計年度末は12,007百万円）と2,789百万円の減少となりました。

③純資産の部

純資産合計につきましては9,597百万円（前連結会計年度末は9,231百万円）と365百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加566百万円、剰余金の配当による資本剰余金の減少102百万円、自己株式の取得151百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,071	7,760
売掛金及び契約資産	1,588	1,127
商品	6,051	4,524
仕掛品	0	2
前渡金	1,069	889
前払費用	180	221
預け金	16	0
未収還付法人税等	7	7
その他	162	639
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,147	15,174
固定資産		
有形固定資産	2,529	2,016
無形固定資産		
ソフトウエア	3	7
その他	0	0
無形固定資産合計	3	7
投資その他の資産		
投資有価証券	1,105	1,146
関係会社株式	1	1
長期貸付金	7	7
長期滞留債権	450	442
差入保証金	213	251
繰延税金資産	81	42
その他	121	139
貸倒引当金	△421	△414
投資その他の資産合計	1,558	1,616
固定資産合計	4,091	3,640
資産合計	21,238	18,814

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	530	435
短期借入金	1,496	826
1年内償還予定の社債	50	50
1年内返済予定の長期借入金	3,363	1,972
未払金	458	278
未払費用	154	126
未払法人税等	183	138
賞与引当金	115	147
役員賞与引当金	9	－
預り金	1,353	1,226
その他	1,074	1,061
流動負債合計	8,788	6,263
固定負債		
社債	85	55
長期借入金	2,590	2,328
繰延税金負債	318	319
役員退職慰労引当金	14	－
退職給付に係る負債	42	45
資産除去債務	31	19
その他	136	187
固定負債合計	3,218	2,954
負債合計	12,007	9,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	8,068	7,955
利益剰余金	375	941
自己株式	△254	△366
株主資本合計	8,289	8,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	293
為替換算調整勘定	△41	△20
その他の包括利益累計額合計	250	272
新株予約権	17	－
非支配株主持分	674	693
純資産合計	9,231	9,597
負債純資産合計	21,238	18,814

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	11,805	15,166
売上原価	7,237	10,702
売上総利益	4,568	4,464
販売費及び一般管理費	4,026	3,661
営業利益	542	802
営業外収益		
受取利息	11	18
受取配当金	22	22
受取給付金	0	1
違約金収入	－	15
その他	10	4
営業外収益合計	44	63
営業外費用		
支払利息	131	138
為替差損	24	22
支払手数料	36	13
その他	4	6
営業外費用合計	196	180
経常利益	389	685
特別利益		
固定資産売却益	8	92
投資有価証券売却益	30	－
新株予約権戻入益	－	17
役員退職慰労引当金戻入額	6	8
債務免除益	－	0
事業整理益	14	－
その他	－	0
特別利益合計	60	119
特別損失		
固定資産除却損	0	7
投資有価証券評価損	0	－
特別退職金	5	－
その他	0	－
特別損失合計	5	7
税金等調整前四半期純利益	445	797
法人税、住民税及び事業税	120	164
法人税等調整額	△7	38
法人税等合計	112	203
四半期純利益	332	593
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	566

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	332	593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	1
為替換算調整勘定	13	20
その他の包括利益合計	99	22
四半期包括利益	432	615
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	426	589
非支配株主に係る四半期包括利益	5	26

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

2026年４月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2026年５月22日を期日とする自己株式の処分（115,800株）を行い、当第３四半期連結会計期間において自己株式が39百万円減少しております。

また、2025年11月14日及び2026年６月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得（563,000株）を行い、当第３四半期連結会計期間において自己株式が151百万円増加しております。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間末における自己株式は366百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注１)	四半期連結損益計算書計上額(注２)
	ＩＴサービス	コンテンツ	アセットマネージメント	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,270	7,029	3,505	11,805	－	11,805
外部顧客に対する売上高	1,270	7,029	3,505	11,805	－	11,805
セグメント間の内部売上高又は振替高	57	19	－	77	△77	－
計	1,328	7,048	3,505	11,883	△77	11,805
セグメント利益	41	200	299	541	0	542

(注) １．セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの資産に関する事項

該当事項はありません。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注１)	四半期連結損益計算書計上額(注２)
	ＩＴサービス	コンテンツ	アセットマネージメント	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,156	6,144	7,864	15,166	－	15,166
外部顧客に対する売上高	1,156	6,144	7,864	15,166	－	15,166
セグメント間の内部売上高又は振替高	60	1	－	61	△61	－
計	1,217	6,146	7,864	15,228	△61	15,166
セグメント利益	58	43	700	802	－	802

(注) １．セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去によるものであります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

当第３四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しております。

なお、前第３四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づき作成したものを記載しております。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)
減価償却費	80百万円	55百万円